

【FRIENDS Live 2019】Town hall Meeting: 診療報酬算定要件の変化とPCI実績の変化



FRIENDS LiveのTown hall Meetingにおいて、東京大学医学系研究科医療経済政策学講座の田倉智之氏から、平成30年度の機能的虚血評価の診療報酬算定要件への導入がPCI介入実績にどのような影響をもたらしたかの検証データが報告された。

田倉氏は、医療の生産性向上の概念と主な潮流、機能的虚血評価の算定要件とトレンドについて解説した後、医療経済系ビッグデータ（レセプトデータ）を利用して、機能的虚血評価の

診療報酬算定要件が導入された前後で、待機的PCIの実績やモダリティの件数の変位を比較した結果を伝えた。

対象期間は、算定前が2017年4月から2018年3月、算定後が2018年4月から2018年11月であり、623機関において、CTA、FFR、CAG等の介入、又は待機的PCIによる介入が行われた1,925例を対象とした。

結果、2017年度（12ヶ月）と2018年度（8ヶ月:年間補正）で、施設あたりの待機的PCIの件数に大きな変化は確認されなかった。検査のモダリティについては、PCI施行1件あたりのFFR、及びMPIの件数の比率が増加したのに対し、CTA、及びCAGの割合は減少していた。

数値的にはPCI実施あたりの平均ステント本数は減少傾向が見られたが、有意差はなく（1.217本 vs 1.175本: p=NA）、FFR介入なし群とあり群の比較においても、平均値はそれぞれ1.242本と1.041本であり、有意差には至らなかった（p=0.388）。

また、PCI関連の医療費全体（検査＋治療等）は月次単位で100万円前後と有意差なかったが（p=0.557）、減少する可能性が示唆された。

今回の解析は患者背景をそろえた解析ではなく、遠隔成績に対する効果は今後の評価となるものの、田倉氏は、「機能的な虚血評価が入ってきたことにより、CAGが減少し、FFRが増え、1入院あたりの医療費が抑制できる可能性がある」と、まとめた。

いいね! 0

Legal Notice お読みください

新着記事

TOPICS 【FRIENDS Live 2019】Town hall Meeting: 平成30年度診療報酬改定におけるPCI

TOPICS 【FRIENDS Live 2019】Town hall Meeting: 診療報酬算定要件の変化とPCI実績の変化

TOPICS エドワーズライフサイエンスが僧帽弁閉鎖不全治療用デバイスPascalシステムのCEマークを取得

TOPICS FRIENDS Live 2019開催

TOPICS メドトロニックが冠動脈のデノボCTO病変に対するResolute DESのFDA承認を取得

✓ Pick up コンテンツ



タウンホールミーティングでDES、DCBのメタ解析結果に各国のリーダーが物申す



JET 2019が都内で開催される

TCROSS NEWS
一部コンテンツ有料化のご案内

アクセスランキング



4. メドトロニックが冠動脈のデノボCTO病変に対するResolute DESのFDA承認を取得

5. 大腿膝窩動脈病変に対するSerranator Altoスコアリングバルーン: PRELUDE試験

